

市民と市長の意見交換会<畑野地区> 質疑要旨

日時：令和5年11月12日（日）19：00～20：30 会場：畑野農村環境改善センター

参加人数：14名

1. 市政について

市長より説明	<p>(説明内容)</p> <p>○3年半の施策の大きな2つの成果について（光回線の全島敷設、国事業による両津港の改修事業採択） 必要不可欠なインフラの整備</p> <p>&lt;令和6年度施策方針について&gt;</p> <p>○島の未来づくりの土台としての「教育」と「行政改革」について</p> <p>○「持続可能な島の実現」に向けた戦略について</p> <p>①「子どもから高齢者まで夢や希望が持てる島」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住人口増で社会減をゼロにするとともに、『産み育てやすい社会』をつくる</li> </ul> <p>②「元気な経済と多様な人が活躍する島」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型観光で観光客を関係人口へ、そして交流人口へとつなげる</li> <li>・企業を呼び込み起業も促進</li> <li>・循環型社会の実現で経済も動かす</li> </ul> <p>③「防災力が高い安全・安心な島」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・停電時のEVバッテリー活用で脱炭素を防災力強化にもつなげる</li> </ul> <p>④「医療・介護・福祉を守る島」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療の確保に政策を総動員して取り組む</li> <li>・医療の課題を介護、福祉で補完</li> </ul>
--------	--

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
畑野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道、下水道などのライフラインの施設老朽化に対して維持管理にける予算を改善していく見込みはあるか。</li> <li>・世界遺産認定を見据えて、鶴子古道の整備についてどう考えるか。</li> <li>・同じく、観光ガイドの整備についてどう考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラの老朽化対応はビジョンに基づいて管理し、国からお金をいただいてやっている。市単独費だけでは破産する。老朽化が早く厳しい状況。守るべき施設は守るところで、市民の皆さんと議論しながらやっていく。</li> <li>・道については、佐渡一周線は何とか整備して欲しいと県に要望している。</li> <li>・ガイドの課題については、ガイドの使い方、稼ぎ方をどうするかというところを考えている。</li> </ul>	上下水道課 世界遺産推進課 観光振興課
栗野江	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理をしていない森林や竹林に対応するための高齢化集落支援をお願いしたい。</li> <li>・健康寿命日本一の目標は大切な取り組みと思うが、市外の医療機関を利用するための船賃への支援が必要ではないか。</li> <li>・稲作について、転作では所得に結び付く米以外の作物は無く耕作放棄地も目立っている。大規模化しても再生産に苦勞している。農業者の高齢化も進んでいるが、所得を増やす取り組みが必要ではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化集落への支援は必要に応じて対応するが、全て対応するのは無理なのでケースバイケースで対応したい。市の予算には限りがある。</li> <li>・船賃については、燃油サーチャージ分を除けば料金を「J」R運賃並みに下げている。これより減額は難しい。不妊治療などへの対応は政策的に実施している。難病で頻りに市外へ出る方などの支援等は検討していきたい。</li> <li>・佐渡のコメは売り切っていて、まだ欲しいと言われていたが、佐渡だけが生産を増やせるわけでもない。農協と相談してほしい。農家の所得確保については半農半Xで生計を立ててもらふことも必要。</li> </ul>	地域づくり課 交通政策課 農業政策課
宮川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この3年半の市長の市政で佐渡市は良くなってきた。</li> <li>・草の根活動で頑張っている人にも褒賞など光を当てて欲しい。</li> <li>・職員のパフォーマンス向上と言われているが、毎日夜遅くまで明かりが点いている職場がある。適材適所の配置ということで2年くらいの異動でころころと職員が変わると引継ぎや仕事を憶える必要から効率が悪くもったいない。5年や10年いて、エキスパートを育ててもよいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のほう賞制度を復活させているので、地域の候補者についてサービスセンター長に教えてやって欲しい。</li> <li>・職員の異動は総務で決定している。10年目までは3年毎に「政策、福祉、産業系」の部署に異動させ、適性を見つうえで中堅を育てて、一度他の部署を経験させた後に管理職にするような方針を指示している。市長が異動に関係するのは幹部職員だけ。</li> </ul>	総務課

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
宮川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適材適所の職員配置というが、いつも夜10時過ぎまで明かりが点いている施設があり、理由を聞いたが答えてくれなかった。どうなっているか。</li> <li>・ 観光の件だが、トライアスロン等のイベントに来る方から『佐渡では公衆トイレが少ない』『どこにあるか』と言われる。2、30キロ先にあるようなときに、どのように説明すればよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理職の命令なく仕事をしている職員は帰すように指示している。超勤についても、やるなどは言っていないが、『管理職の命令』でやるように指示している。管理職に確認させる。</li> <li>・ 公衆トイレはあるが、認知度が低いだけ。今、LINEでもトイレの場所を周知している。トイレが足りなければ支所・サービスセンターのトイレなど今あるものを使ってもらえれば良いと考えている。</li> </ul>	総務課 観光振興 建設課
諏訪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の想定する佐渡の津波の高さに比べて防災庁舎やその隣の防災倉庫の標高は低すぎないか。また、津波が高くなる湾の奥に人口が多いので心配。</li> <li>・ 消防署が国府川の傍にあり、標高も低い。発電設備も地下にあると思うが浸水する場所にあるのは問題では。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詳細は後で防災担当から説明させるが、防災庁舎は津波ではなく洪水を想定して建てている。</li> <li>・ 消防署も津波は問題ないが、川の氾濫で消防車が使えないことが想定される場合は、事前に移動するように準備している。</li> </ul>	防災課 消防
畑野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡病院の駐車場に院外薬局を建設中で、遠くの駐車場に停める必要がある。また、両津港の駐車場も近いところは一杯になり、遠くに停めて歩かなければならないが、立体駐車場などで解決できないか。</li> <li>・ 佐渡市は介護保険料が高い方に位置付けられているが、介護保険の見直しで保険料が高くなる。引き下げが出来ないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐渡病院の駐車場は病院の話なので、全く話は聞いていない。両津港の立体駐車場については、広い敷地が必要で、赤字にしないためには一定程度の規模が必要なためできない。南ふ頭整備の中で検討していくのでお時間をいただきたい。</li> <li>・ 介護保険料は国・県の財源を含めて決めている。</li> </ul>	健康医療対策課 建設課 高齢福祉課
畑野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市報で伝えているとは聞いているが、政策の評価、進捗を伝えることはしているのか。</li> <li>・ 市民との協働による『市民とともにつくる島』について、職員減で市民から知恵を出してもらいたいとのことだが、高齢化で集落の方向性を出しにくい場合は、行政の手助けをしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合政策課で政策の進捗は出して市民の皆様にお知らせする。</li> <li>・ 難しく考えず「何をして欲しいか」という話をサービスセンターとしながら議論してもらいたい。センター長には地域に出て課題などについて話をするように指示している。</li> </ul>	総合政策課 地域づくり課